

ペール缶国内最大手のジャパンペール(本社・大阪市西区、社長・橋本克典氏)は4日、岸和田市総合体育館(大阪府岸和田市)で開催されたプロハンドボールリーグHの「ア

ジャパンペール

ルバモス大阪高石対大
同特殊鋼 Phenix
x TOKAI」に協
賛した。当日は748
人が来場。同社はアル
バモス大阪高石と今シ
ーズンのスポンサー契
約を結んでいる。

プロハンドボール試合に協賛

ペール缶活用の体験企画、グッズ展開

当日は「ジャパンペールマッチDAY」として、さまざま企画を実施し、来場者を盛り上げた。会場では、ペール缶を使ったストラ



背番号「3・14」のユニフォームを着用し、挨拶する橋本社長(中央)①、試合後、アルバモス大阪高石の選手が集結

当日は「ジャパンペールマッチDAY」として、さまざま企画を実施し、来場者を盛り上げた。会場では、ペール缶を使ったストラックアウトブースを設け、小学生用ハンドボールを投げ入れる体験イベントを展開。成

背番号「3・14」のユニフォームを着用し、挨拶する橋本社長(中央)①、試合後、アルバモス大阪高石の選手が集結

ルバモス大阪高石公式ペール缶の円をイメージし、円周率にちなんで「3・14」。橋本社長は「ペール缶は円形であり、円周率は永遠に続く。当社のアルバモス大阪高石への愛の記念写真を印刷したペール缶の受注も受け付けただけでなく、来場者全員を対象とした抽選会を実施。当選した7人には、美しい応援メガホンを配布し一体感を高めた。試合のハーフタイムには橋本社長がアルバモス大阪高石のユニフォームを着用してコートに登場。背番号は、32対29で勝利した。

